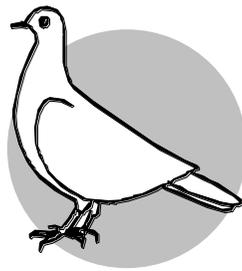


2019年

献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団
スチュワードシップ部

2019年 献金目的

1月

- 5 教会献金
- 12 アドベンチストミッション献金
- 19 教育献金
- 26 教会献金

2月

- 2 教会献金
- 9 三育学院神学科献金
- 16 教育献金
- 23 教会献金

3月

- 2 教会献金
- 9 アドベンチストワールドラジオ (AWR) 献金
- 16 教育献金
- 23 教会献金
- 30 メディア伝道献金

4月

- 6 教会献金
- 13 ホープチャンネル献金
- 20 教育献金
- 27 教会献金

5月

- 4 教会献金
- 11 災害援助献金
- 18 教育献金
- 25 教会献金

6月

- 1 教会献金
- 8 千人宣教師献金
- 15 教育献金
- 22 教会献金
- 29 メディア伝道献金

7月

- 6 教会献金
- 13 世界伝道献金
- 20 教育献金
- 27 教会献金

8月

- 3 サインズ献金
- 10 支部機関献金
- 17 教育献金
- 24 教会献金
- 31 メディア伝道献金

9月

- 7 教会献金
- 14 世界伝道献金
- 21 教育献金
- 28 教会献金

10月

- 5 教会献金
- 12 信徒子女奨学金献金
- 19 教育献金
- 26 教会献金

11月

- 2 教会献金
- 9 年末犠牲 (グローバルミッション) 献金
- 16 教育献金
- 23 教会献金
- 30 メディア伝道献金

12月

- 7 教会献金
- 14 アイアス/教育伝道特別献金
- 21 教育献金
- 28 教会献金

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

ペニー・ブリンク著

山地 明訳

著者プロフィール

ペニー・ブリンク女史は、牧師の資格を持ち、牧会伝道、メディア制作、スチュワードシップ、その他の伝道部門で働いてきました。彼女は、キリスト教倫理を専門に、神学修士課程で研究を重ねています。彼女は、南アフリカ人であることを誇りに思っていますが、他の三大陸で生活し、そこの教会のために働いてきました。彼女は、異なる文化の中にいる人々に福音をより効果的に宣布するために、福音を生活の中に生かす工夫に情熱を燃やしています。

ペニーは、七年間（2011～2017）、世界総会スチュワードシップ部で働いてきました。この期間彼女は、Dr. Erika Puni、Dr. Larry Evans、Dr. Mario Nino、Marcos Bomfim、Hiskia Missahら神学者や、尊敬する同僚や教師、及び世界総会各支部スチュワードシップ部の指導者たちから、スチュワードシップに関して多くを学ぶことができました。以下の読み物は、彼女がこれらの靈感に満ちた人々との出会いを通じて得てきた思想や、彼女がこの部局で働いていた間に発見した、人生を変革する思想の幾つかをまとめようとしているものです。この中には、エレン・G・ホワイト著「スチュワードシップに関する勧告」からの靈感に満ちた言葉が含まれています。

この読み物は、世界の伝道地におけるスチュワードシップの目標達成、及び、この部局の戦略的目標推進に役立つ、テレビ番組風に言えば、「スチュワードシップ支援用ビデオ」のようなものになり得ます。ペニーはまた、この「2019年度、安息日礼拝献金の勧め」の中で、彼女自身のスチュワードシップ体験の幾つかの証を加えています。彼女は将来、これら52の読み物を膨らませて、彼女が現在著作中の他の書物に加えて、スチュワードシップに関する霊的読み物を出版しようとして計画しています。

ペニーは、これらの読み物が、この終わりの時代における神の伝道を完遂するために、神の忠実な管理者たちによって実行されるための思想と献身を刺激するのに役立つようにと願っています。

1月5日 教会献金

祝福されよ、主に信頼する人は。主がその人のよりどころとなられる。

彼は水のほとりに植えられた木。水路のほとりに根を張り／暑さが襲うのを見ることなく／その葉は青々としている。干ばつの年にも憂いがなく／実を結ぶことをやめない。

エレミヤ書 17:7、8

「パールさん、あなたはどのようにしてすべての必要なものを手に入れるし、家庭をこんなにも立派にしておられるの？」

「グラディス、それは、わたしが什一を献げているからなのよ。わたしの収入の十分の一をね！」

これは、わたしが少女の頃から覚えている会話です。パールとは、わたしの祖母の名前で、彼女はわたしの家庭で最初のアドベンチストでした。彼女は、最初から什一と諸献金を忠実にささげてきた人でした。彼女は、決してお金持ちではありませんでしたが、人生の万事において神を信頼していましたので、神は彼女が必要としていたもの——彼女の家の小さな美しい飾り物さえも——お与えになりました。

何にも増して彼女の模範は、必要を満たされる神への信頼と忠実なスチュワードシップの大切さをわたしの心に植えつけました。彼女の模範は、人生における神の祝福の忠実な管理者となるようにという靈感を、わたしに与えました。

今日、わたしたちは、わたしたちの模範によって、誰に靈感を与えているでしょうか。子供たちや孫たち、伴侶や友人や隣人たちに与えているでしょうか。スチュワードシップについてのわたしたちの実践と神への信仰は、わたしたちが考えている以上に、周囲の人々の目に明らかなのです。

神に対して忠実であることが、クリスチャンの証の重要な部分であることを覚えておきましょう。

1月12日 アドベンチスト・ミッション献金

子供たちにもそれを教え、家に座っているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、語り聞かせ、

申命記 11:19

植物のために庭作りをし、植物が成長する様子を見守ることは、自然界と神の奇跡的摂理に対する感謝や、忍耐と我慢強さを子供たちに教える優れた方法です。それば

かりではなく、収穫物の十分の一と諸献金のための部分を聖別することによって、什一や諸献金について子供たちに語る機会となります。収穫物を販売する場合にも同じことができます。このようにして、スチュワードシップ精神が、幼児の心の中に「組織的に」成長することができるのです。

わたしの母が、わたしたちの小遣いを分ける際、わたしたちを助けていたのを思い出します。わたしたちの什一や献金を小さなポケットに入れて、安息日学校に行くのは、とても心をわくわくさせる経験でした。わたしたちは、小さな管理者たちになっていたのです。どのようにして信仰を働かせるかを、わたしたちは理解し始めていたのです。

今日わたしたちの家庭において、信仰とスチュワードシップに関して子供たちに教えるために、どのような機会が自ずと訪れるのでしょうか。

わたしたちの日常生活において、神様の事柄を子供たちに教える機会を設けることを決して忘れないようにしましょう。

1月19日 教育献金

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハによる福音書 3:16

あの金曜日の午後、十字架の上で何が起こったのでしょうか。

世界総会聖書研究所の元所長であった、エンジェル・ロドリゲス引退牧師が、スチュワードシップ集会で語っていたのを、わたしは聞いたことがあります。

誰か他の人が語るのを聞いていて、時々人の注意を引きつけて離さないある種の支援用ビデオが存在しています。これらは、ある主題に関して心踊る感覚を人に与えるような概念です。スチュワードシップに関して、あなたはこれまでに興奮を感じたことがありますか。もし興奮したことがなければ、次の話を聞いてください。

金曜日の午後十字架の上で何が起こったのかという問いに対する答えは、あなたが誰に対して話しているかによります。宗教の指導者たちは、一人の反乱者が当然の報いを受けたのだ、と答えたかもしれません。ローマの支配者たちは、これまでこのような人物を十字架につけさせたことは一度もなかった、と答えたかもしれません。この方は、あるローマの指導者さえお癒しになりました。弟子ヨハネは、彼の親友を失った、と答えたかもしれません。

ロドリゲス博士は、深遠な光景を描きました。あの金曜日の午後、神は、ご自身の心の奥底にまで下り、それから世代を超えて、ご自身のひとり子という最高の献げものを、あなたやわたしへの贈りものとして、宇宙の献金かご——十字架——の中に置かれたのです！

十字架が宇宙の献金かごですって？ わたしたちの救い主、イエスという究極のささげものがかごの中に入れられたですって？ この思想は、今後人が献金をささげる度に、

その人の考え方を变えるのではないのでしょうか？ あの金曜日の午後わたしの救い主が、わたしのためにしてくださった大いなる犠牲と比べるならば、わたしのわずかの献げものがいかに無意味であるかと確かに考えさせるのです。しかしどういふわけか、わたしたちの献げものは、イエスが持っておられたような思考形態にわたしたちを導くのです。それは、与える人となるようにわたしたちを助けるのです。それは、わたしたちをよりイエスに似る者とするのです！

今日、あなたは何を喜んで与えますか？ わたしたちはイエスのために、喜んで何を犠牲にしますか？

1月26日 教会献金

わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。

ヨハネによる福音書 15:4

イエスのたとえの中のぶどうの木とその枝は、スチュワードシップとそれが現実がいかに作用するかについての優れたたとえです。

わたしは、たくさんのぶどう園がある地域の世界に住んでいます。イエスが歩きながら、葉に触りつつぶどうの木々の間の小道をいかに歩かれたかを、わたしは容易に想像できます。一本の枝を手にとってイエスは、彼が真のぶどうの木であることを弟子たちに説明する機会を持っていたにちがいありません。わたしたちは、この枝のようなものです。もしも枝がぶどうの木につながっていないければ、立派な実を結ぶことはできません。

わたしたちはしばしば、すべての善の源であるお方と結合する前に、善を行い、善人であろうとします。もしもわたしたちがイエスに集中し、わたしたちに対する彼の偉大な愛、わたしたちを救うための彼の偉大な犠牲、更に、日ごとに与えられる祝福を、わたしたちがイエスから受けるならば、喜びと寛大さがわたしたちにあふれるでしょう。もしもわたしたちがそうしなければ、わたしたちは干上がってしまい、与えることを忘れてしまうでしょう。

わたしたちがどこに住んでいても、神の支えの力を自然界は確かに説明しています。わたしたちの人生が、周りの人々への祝福にあふれるように、わたしたちがこのような靈感をしっかりとつかみ、人生の水源の源泉であるお方と結ばれた状態でありつづけることができますように。

わたしたちは、真のぶどうの木につながっているのでしょうか？

2月2日 教会献金

マタイによる福音書 21:33～45 に、自分のぶどう園を農夫たちに管理させた土地の所有者に関する、イエスが語られた物語が記されています。収穫のときが来た時、主人は収穫を受け取るために僕（メッセンジャー）を送りました。ところが農夫たちは僕をうちたたき、彼を手ぶらで追い返しました。同じことが二度起こりました。そこで主人は、最後に彼の跡継ぎである息子を農夫に会わせるために送りました。「わたしの息子だったら敬ってくれるだろう」と主人は考えました。ところが彼らはその息子を殺し、主人の収穫物を奪い取ってしまいました。41 節には、次のように記されています。「その悪人どもをひどい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに貸すにちがいない。」

本質的にこのたとえは、幾世代にわたって預言者たちを遣わされたが、神の民によって拒絶された神の物語なのです。そこで神は最後にご自身の御子を遣わされましたが、彼らは御子を殺しました。しかし、この物語は、もう一つ別の原理をも例示しているのです。

スチュワードシップの観点から見ると、これはまた恐ろしい物語でもあるのです。彼らは、主人の財産を管理する、非常に悪質で不正直な犯罪人たちでした。真の管理者は、これとは真逆で、主人のために自らを犠牲にするのです。この物語は、問題を起こすと同時に、その中にすばらしいメッセージが存在しているのです。この物語は、神の愛は、わたしたちが想像できることよりも一段高い段階をいかに常にとられるかを示しているのです。主人の息子の死は、神の御子を遣わされることによってわたしたちに示された神の慈愛を示すばかりではなく、神であるイエスが実は、神の管理者たちのためにご自身の命を喜んで与えられた主人その人であったことをも示しているのです。

わたしたちは、神の財産の管理者たちであることを理解しているでしょうか？ わたしたちが毎日受けている賜物の真の所有者であるお方と、わたしたちはいかによく対応しているでしょうか？

2月9日 三育学院神学科献金

「管理者」という言葉は、いかにも古めかしい言葉です。わたしたちは、人々を実際は管理者とは呼びません。むしろ今日ではわたしたちは、誰か他の人の財産の管理者とは呼ばず、マネージャーと呼んでいます。管理者は、所有者ではなく、所有者から、「管理人」という肩書きと、それに伴う義務が与えられた人なのです。

このスチュワードシップという考えは、どこから始まったのでしょうか。スチュワードシップという概念は、聖書の中で二つの事柄——人間とは誰か。神とはどなたか

——を含んでいます。従ってステewardシップは、神の御前におけるわたしたち人間の立ち位置を描いているのです。

それではスタート時点に立ち返ってみましょう。神は万物の創造者です。あなたやわたし、環境、外部の空間——これらすべては、神がそれらを創造なさったから存在しているのです。わたしたちが所有しているすべてのものは、神のおかげなのです。すべてのもの、そしてそれよりもっと多くのものも同様です。神の被造物また、神の管理者としての立ち位置の中に、わたしたちのアイデンティティと義務とをわたしたちは持っているのです。エデンの園でこれが明示されました。神は、神の他のすべての生き物と神の被造物の世話をする義務をわたしたちにお与えになりました。創世記 1:27、28 に次のように記されています。「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。』」

ある人々はこの聖句を、神の被造物を自分たちの意のままに取り扱っても良いという許可証のように受け取っています。わたしたちに支配権は与えられてはいますが、それらは依然として神の所有物であることを覚えることは重要です。わたしたちは、所有者ではありません。所有者である神のために働くマネージャーなのです。

神がわたしたちを信頼して託されたものを、注意深く取り扱おうではありませんか！

2月16日 教育献金

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

ヨハネによる福音書 1:1～5

わたしたちの多くは、大都会やハイテク社会に住んでいますので、自然界と結びついて生活することが難しいかもしれません。しかし、わたしたちが持っているすべてのもの、及び、生命そのものは、神が創造なさったものから抽出され、維持されているのです。わたしたちの命そのもの、わたしたちの健康、わたしたちの知性、わたしたちの能力は、神の創造の力から出ているのです。『教育』の中で、エレン・ホワイトは次のように述べています。「世にはりっぱな教師が少なくない。彼らは、すぐれた知性を持ち、深い学問をした人たちであり、またその言論によって人間の思想を刺激し、広い知識の分野を開いた人たちである。こうした人たちは、人類の指導者として、また恩人として、世の人々から尊敬されてきた。しかしここに、彼らよりもいっそうすぐれた神がおられるのである。われわれは人類の歴史の最古までさかのぼって、世の教師たちの足跡をたどることができる。しかし、光なる神は、それよりももっと前におられたのである。太陽系の月や星が、太陽の光を反射して輝くように、世の偉大な思想家たちは、彼らが忠実であるかぎり、義の太陽である神の光を反射しているのだ

ある。思想のかがやき、知性のひらめきの一つ一つは、すべて世の光である神から出ている」(『教育』2～3ページ)。

従ってわたしたちは、イエスが創造主であるばかりではなく、万物の主でもあることを知らなければなりません。しかし問題は、イエスが本当にわたしの人生の主なる神であるか、ということです。もしもわたしが、物質的祝福を含むわたしの人生のすべてを、イエスの御手にささげるならば、どのような創造の力をわたしは発見するでしょうか。わたしの周りの世界において、神の助けによって、わたしはどれほどの善を行うことができるでしょうか。

今日、わたしたちの人生を、心から喜んで、万物の主であるお方におささげし、わたしたちの周りの世界を祝福しましょう。

2月23日 教会献金

人は神の物を盗むことをするだろうか。しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでいる。あなたがたはまた「どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか」と言う。十分の一と、ささげ物をもってである。

マラキ書 3:8 (口語訳)

神は創造主であり、それ故に万物の所有者であることを理解することは、クリスチャンにとって容易なことです。創世記の創造の記述は、生命と自然界の創造における神の創造の力をわたしたちに示しています。

神はイスラエルの民に救いの計画を理解させ、神を礼拝するための場所として、幕屋及び聖所の制度を設立なさいました。神は彼らの収入又は財産の10パーセントを什一として返すように求めました。神は、この什一を神の所有物だと主張なさいました。神はまた、さまざまな種類のささげものをも携えてくるようにと彼らに求めました。

什一と諸献金との違いは何でしょうか。什一は神に属するものなので、わたしたちはそれを単に神にお返ししているだけなのです。神が割合をお定めになりました。それゆえに、わたしたちが什一をささげるとき、わたしたちはまだ何もささげてはいないのです！ 既に神に属しているものを単にお返しただけなのです。

一方、諸献金は神にささげるわたしたちの贈り物です。わたしたちは、神にわたしたちの献金をささげます。わたしたち自身の心のままにささげる割合を決めるのです。しかしこの聖句には、献金には神の物を盗むことに関しても言及されている、とあります。わたしたちは「什一と諸献金」をもって神から盗むのです。これは、両者が、創造主へのわたしたちの礼拝の表現として神の御前に等しく重要である、と述べているようです。

わたしたちに多くのものをお与えになったお方に対して、わたしたちが忠実な者となりますように。わたしたちも神に対して、忠実に什一をお返しし、定期的に広い心で諸献金をおささげいたしましょう。

3月2日 教会献金

十分の一の献げ物をすべて倉に運び、わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと、万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために、天の窓を開き、祝福を限りなく注ぐであろう。

マラキ書 3:10

一見、この聖句は、もしもわたしたちが神に献金するならば、神はわたしたちを金持ちにしてくださる、と述べているように思うかもしれませんが。これまでにこの聖句についてそのように考えたことがおありでしょうか。ある人たちは、これを繁栄の神学と呼んでいます。この種の神学は、宗教界において多くの自称伝道者たちによって用いられており、その結果しばしば人々は、与えたいと思っている以上に与えてしまい、実現しない期待をもつように操作されています。これは、信仰破壊の経験となり得るのです。

わたしたちはどうすれば、もっと明快に理解することができるでしょうか。什一とは、人の収入の 10 パーセントのことであることを、わたしたちは神の言葉から知っています。わたしたちの自由献金の割合は、献金者の心に従って決定されます。什一と諸献金は割合に基づくと言う時、それはどういう意味でしょうか。その意味は、それらはわたしたちの収入の割合、あるいは、比率によって計算される、という意味です。ゼロの 10 パーセントはいくらでしょうか。ゼロです！確かに、割合に基づく献金制度は、神の祝福が先行し、次いでわたしたちがささげることの意味します。その逆ではありません。わたしたちは、祝福されるために献金するものではありません！常に先ず神が先行します。わたしたちが神を愛する以前に、神がわたしたちを愛されたのです。更に、わたしたちが神を祝福する前に神がわたしたちを祝福なさるのです。神は、循環し続け、もしわたしたちが忠実であれば、神はわたしたちの忠実さに報いる、と言われます。わたしたちは常に物質的事柄のみを祝福だと考えるのでしょうか。神は、わたしたち一人一人を多くの方法で祝福なさいました。神は、マラキ書 3:9、10 で約束なさったように、忠実なスチュワードシップを通して神の祝福を認知している人々を、喜んで支えることができになります。

今日あなたが献金なさるとき、この約束を主張しましょう。

3月9日 アドベンチスト・ワールド・ラジオ (AWR) 献金

(世界総会 AWR による奨励文)

アドベンチスト・ワールド・ラジオは、教会における伝道の最前線でユニークな役割を果たしています。ラジオの電波は、教会の働き人が、他の方法では行くことが非常に困難な場所に福音を届けています。そして人々は、福音を耳にしているのです！

北アフリカとスーダンから、バングラデシュと中国まで、人々は AWR のプログラムを通して神の愛を初めて聞いています。そして彼らは人生が変革した証を送ってくれています。エチオピアで新たに信徒となった一人の人は次のように記しました。

「わたしは、皆様方の放送を偶然に見つけました。これまで二年間この放送を聞いて、わたしは教会に行くようになりました。わたしの人生が徐々に変化しています。大勢の人々があなた方のプログラムに耳を傾けていることを、あなた方にお伝えしたいと思います。神様の祝福をお祈りします！」

アドベンチスト・ワールド・ラジオのプログラムは、短波放送、地方の AM/FM ラジオ放送やソーシャルメディアを通じて、100 以上の言語で聞くことができます。これらの放送は、厳しい政府や反抗的文化を乗り越えて、人々の家庭と人々の心に直接希望を届けています。しかし依然として、彼らの母国語で救いのメッセージを聞くことのできない大勢のリスナーが存在しているのです。

皆様方の援助によって AWR 放送は、新しい言語を加えたり、未開拓の地域に放送を拡張することができます。皆様方が、この重要な伝道のために AWR 放送のパートナーとなってくださるようにお招きいたします。

世界総会は、支部総会を通して定期的に献金の一部を受け取っていて、それを伝道計画及び伝道機関に再配分しています。AWR はそのリストの中に含まれています。AWR のための追加の献金は、明記された封筒に入れて、いつでもささげることができますので、よろしくお祈りします。

3月16日 教育献金

あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。

マタイによる福音書 6:21

非雇用の人でも、立派な管理者となることができるでしょうか。スチュワードシップは、心の問題です。わたしたちは時々それを金銭の問題に限定して考えますが、金銭は、単に書かれた心のテストにすぎません。エレン・ホワイトは、『アドベンチスト・ホーム』の中で、「金銭は、愛情の不変のテストです」(英文、372 ページ) と述べています。

アドベンチストは、組織的献金制度に従っています。わたしたちがささげる回数、ささげる割合において、組織的、計画的であるという意味です。例えばわたしは、わたしの給料を受ける月ごとにささげ、10 パーセントの什一を返し、給料の一定の割合を諸献金としてささげます。わたしは、他の支出の前に先ずこれを実行します。何故

ならば、わたしは神を最優先していることを示したいからです。支出を含むわたしの生活のあらゆる側面で、わたしは神を第一にしています。

雇用されていない人や、働くにはまだ早過ぎる若い人たちはどうすればよいでしょうか。彼らには収入がありません。経済的なスチュワードシップに、このような人たちはどのように参加できるのでしょうか。彼らも参加できるのです。何故ならば、スチュワードシップは、心の問題であるからです！ 更に、組織的献金制度には、方法があるからです。もしもクリスチャン管理者がその心を主にささげ、収入——主からの経済的祝福——がある時に、什一を返し、収入の一部を自由献金としてささげると神に対して約束をした時、その約束を主は真剣に受け止められます。主はその約束を受け入れ、クリスチャンは、収入を得るとすぐにその約束を守ります。このようにしてすべての人々は、りっぱにスチュワードシップに加わることができるのです。「あなたの富のあるところに、あなたの心もある」のですから、子供たちや現在収入を得ていない人たちでもスチュワードシップに立派に参加できるのです。

あなたが収入を得たらすぐに神の忠実な管理者になろうと、今日約束しましょう。

3月23日 教会献金

創世記 1:26～28 を読みましょう。

「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう」（創 1:26）と神が言われた当初に帰っていきましょう。神は、新しく創造された人間が、「神の像（かたち）」を認識できるような物差しを備えて、人間が「神の像」に留まり続けるのを助けてくださいました。

これらの最初の「物差し」は、人に「海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう」（同上）ということでした。言い換えれば、わたしたちが「神の像」であることをわたしたちに認識させる最初のもの、神の被造物のりっぱな管理者であることです。

創造者は、わたしたちに支配権を与えられましたが、わたしたちに支配をゆるしたものは、依然として神の所有物であることを、わたしたちは知らねばなりません。わたしたちは被造物の所有者ではありません。むしろわたしたちは、創造者なる神の管理人なのです。神が人間に最初に与えられた植物を基本とした食事にさえ、わたしたちが今日この惑星のより良い管理者となるための助けとなり得るヒントが存在しているのです。

これと、今日の献金の勧めとどんな関係があるのでしょうか。神が、わたしたちに面倒を見る特権を与えられた祝福に対して、わたしたちがどれほど実行しているかを立ち止まって調べてみましょう。環境、わたしたちの物的祝福、わたしたちの健康等についてです。わたしたちは共同体として神がわたしたちに祝福としてあたえられた資源を、わたしたちの共同体の利益のためにいかに用いているのでしょうか。

もしもわたしが神の管理者であることを真剣に受け止めているならば、わたしの毎日の選択がどのように変わるでしょうか。わたしの寛大さや他者に対する配慮が、いかに改善されることでしょうか。このことについて日ごとに反省する時を、皆が持つようにしましょう。

3月30日 メディア伝道献金

神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。』神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。』

創世記 1:26～28

先週わたしたちは、神がわたしたちを、どのようにして「神の像（かたち）」である管理者となさったかを聞きました。管理者であることは、わたしたちが神の像を保つのを助ける一つの方法でもあるのです。神は、わたしたちが自分たちの外側にある自分以外のものに集中し、「他者を中心とする」ように求めておられることが明らかになりました。そこで神は、世話をするようにと、神の被造物をわたしたちにお与えになりました。黙示録の中で、地を滅ぼす者たちは、自らも滅ぼされると警告されています。神の領土の世話をしながら、わたしたちが神の像を保つことは、神にとって非常に重要であるようです。

わたしたちを「神の似姿」に創造し、その似姿をわたしたちが保つのを助けるためのもう一つのこと、人間に伴侶を与えることでした。この伴侶は、子供を産むことができ、こうして家族となるのです。言い換えれば、神はわたしたちを創造する能力を持つ者に創造なさったのです。神の命を与える力を通して、人間の両親は、子供たちをこの世界にもたらし、神がわたしたちを愛されるように、子供たちを愛することを学ばせるのです。伴侶であり、家族であることからわたしたちが学ぶ、他者へのこの愛は、教会における信仰の家族としてでも有効で、わたしたちを利己心から逃れさせ、わたしたちがイエスにより似る者となり、神の像を保つ助けとなるのです。

これがわたしたちのステewardシップにいかに関与するのでしょうか。もしもわたしたちが誰か他の人たちを愛するならば、わたしたちはその人たちに対して一層自己犠牲的になります。神がお与えになったように与えることによって、より一層神に似るようになるとは、何という特権でしょうか。

わたしのささげる姿勢は、わたしが神の似姿を持つ者であることを示しているでしょうか。他者は、わたしにとって重要な存在でしょうか。

4月6日 教会献金

イエスは言われた。『では、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。』

マタイによる福音書 22:21

ファリサイ派の人たちは、イエスを罠にかけようとしていました。彼らは、税金を皇帝に納めるべきかどうかについて、イエスに尋ねました。彼らが税金を納めたくないと考えていたローマの指導者たちへの親近感を、イエスは示されるのでしょうか。イエスは彼らにデナリオン銀貨を見せるように求めました。銀貨には皇帝の肖像がありました。イエスは、皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返すようにと提言なさいました。彼らはこれについて議論することができませんでした。

わたしたちは時々、什一と諸献金を、税金と同じ類(たぐい)のものであるかのように考えていないでしょうか。もしもわたしたちが幸いにも十分な給料や賃金を受け取っているとすれば、税金が差し引かれていることを知っています。既に十分に差し引かれていると、わたしたちは感じるかもしれません。神は、それに加えてわたしたちに「税金」を課すのでしょうか。更に、什一や諸献金をどのように計算すべきなのでしょう。か。(税金を引かれる以前の)総収入でしょうか、それとも(税金を引かれた後の)手取り収入でしょうか。生計支出も差し引いた後でしょうか。神のために何も残らない場合はどうすれば良いのでしょうか。

什一と諸献金をささげることは、礼拝の行為です。それらは、税金ではありません。それらは、わたしたちの生活において神を第一にしていることを示す方法であり、わたしたちが、わたしたちの生活手段にではなく、神に頼っていることを示しているのです。マラキ書 3:10 は、什一や諸献金をささげるに十分な収入を与えてくださる神を信頼している人々に対する、神の支援の恵みを約束しているのです。什一をささげる際、総収入額か、それとも手取り額か、についての質問が湧くとき、「あなたはどちらの約束された祝福を受けたいですか、総収入の約束ですか、それとも手取りの約束ですか」と自問できます。大切な事実、わたしたちは決して主に与えることはできないということです。主が、まず最初に、すべてのものをわたしたちに与えてくださったのです。

経済的なことも含めて、神を第一にすることによって神を礼拝しましょう。

4月13日 ホープチャンネル献金

神は、ホープチャンネルという世界規模のメディア伝道の働きを用いて、放送によ

って多くの視聴者たちのバプテスマ及びそれ以後の人生を援助しておられるのです！世界中で50以上の放送局と提携して、ホープチャンネルは、60以上の言語によって、「収穫は多い」（ルカ 10:2）というイエスの伝道を、聖霊の力によって実現しつつあります。

昨年春、マーク・フィンレーと彼の妻テニーは、タンザニアのムワンザにおいて、「希望の黙示録」伝道講演会を開催しました。全国4,500の地域へのホープチャンネル放送によって、講演会の影響は爆発的に増大し、22,600人以上の尊い魂がバプテスマを受けたのです！

www.hopetv.org/transformed を通して、あなたは、放送によって人生が造りかえられた視聴者たちの多くの感動的な証を視聴できます。あなたの家族や友人たちもこれをごらんになるように、ご招待ください。

ホープチャンネル献金は、この世界的なメディア伝道のために必要な多くの資金のために用いられます。

世界総会は、支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の計画や機関に再配分します。ホープチャンネルは、再配分されるそのリストに含まれています。ホープチャンネルのための追加献金は、それが明記された献金封筒を用いて、いつでもささげることができます。

4月20日 教育献金

だから、「何を食べようか」「何を飲もうか」「何を着ようか」と言っ、思い悩むな。それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

マタイによる福音書 6:31～33

わたしは、シングルマザーと二人の兄弟たちと一緒に、海岸の町で育ちました。母は神に信頼しましたが、その一方で、時々少々心配する傾向がありました。特に、給料日の一週間前になると、「ミルクとパン」を買うお金がどこから来るかまったく見当が付きませんでした。

そのようなある時、わたしたちは皆で、安息日の午後遅く、海岸に散歩に行きました。そのとき母は、半分砂に埋まった銀貨を見つけました。彼女は腰を屈めてそれを拾い上げると、次から次へと銀貨を見つけました。母と一緒に、わたしたちも幾つかの銀貨を——一、二枚の紙幣さえ——拾い上げ、殆ど自分たちの目を信じる事ができないほどでした。わたしたちは、誰かこのお金の落とし主がいるかどうかを探すために周囲を見渡しましたが、誰も見つかりませんでした。それは、その週のパンとミルク代を確実に支払えるものでした。

これは、経済を心配しないで先ず神の国を求めるとわたしに教えてくれた、わたしの子供時代の一つの経験でした。神は、わたしを決して一度もお見捨てにならなかったことはありませんでした。

あなたは、分かちあえるどのような神の摂理の証を持っていますか。今週誰かに、神の慈愛を伝える機会を、神に求めてください。

4月27日 教会献金

主人は言った。「忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。」

マタイによる福音書 25:21

わたしたちの物質的祝福が、神の良い贈り物だと、わたしたちはどれほど頻繁に考えているでしょうか。おそらくわたしたちは、わたしたちの物質的所有物を得るために懸命に働いており、それらは、わたしたち自身が率先して働いた結果であると、感じています。しかし、わたしたちが所有しているすべての物は神から来たものであるというのが、事実なのです。神が創造主ですから、それ故に、すべての物の所有者なのです。わたしたちの生命そのものも、一つの賜物なのです。

タラントンのたとえば、神がわたしたちに与えておられるものを、わたしたちがいかに取り扱うように期待されているかを、わたしたちに示しています。神は、神の国を広げる助けをするようにと、わたしたちに求めておられます。神がわたしたちに与えておられるものは、神がわたしたちを信頼して託しておられるものです。それらは、わたしたちへの神の贈り物であり、神の国は、寛大な精神の上に築かれているのです。神の国においては、わたしたちが育て、人に贈り物として与えたものだけを大きくすることができるのです。もしもわたしたちが、物を買いだめしたり、貯蔵したりすると、それらは他者への祝福にはなり得ません。

もしもわたしたちが、与え続けさえするならば、わたしたちの受ける能力を増やすことができるのです。

神がわたしに与えてくださったものを用いて、わたしは何をしているでしょうか。神の国を広げるために、わたしは、神の良い贈り物を用いているでしょうか。他者を祝福するために、わたしは神のタラントンをを用いているでしょうか。それとも、わたしのタラントンを隠したり、神を立派に代表しない危険領域に至るまで、わたしの所有物を蓄えているでしょうか。

神がわたしたちの裁量に任されている、経済や他の資源を用いて、神の国を広げ始めることに、わたしたちは挑戦しようではありませんか。

5月4日 教会献金

各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりに
しなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

コリントの信徒への手紙二 9:7

什一と諸献金との間の違いは何でしょうか。すぐに分かると思いますが、両者を比
較してみましょう。

1. 什一は、わたしたちの収入の 10 パーセントです。諸献金は、わたしたちが受けた
祝福に応じて、わたしたちの心で決めた割合です。
2. 什一の割合は、神によって定められています。諸献金の割合は、わたしたち自身に
よって決められます。
3. 什一は、礼拝のかたちです。諸献金も同様です。
4. 什一は、神がご自身のものであると主張しておられるので、神に属します。諸献金
は、神がわたしたちを信頼して任せられたものから、ささげられます。
5. 什一は返しますが、諸献金はささげます。

ちょっと待ってください。もう一度最後の項目を見てみましょう。「什一は返しますが、
諸献金はささげます」とありますが、これはどういう意味ですか。その意味は、
神は什一を要求しておられる、つまり、ご自身のもので什一を求めておられると
いうことです。従ってわたしたちは、什一を神にお返しするのです。わたしたちのも
のとして、神がわたしたちに信託されたものをわたしたちが手放すときにのみ、わた
したちはささげ始めるのです。わたしたちが什一をした時、わたしたちはささげた、
と感じるかもしれません。しかし本当は、神に属するものをわたしたちがお返しした
だけなのです。わたしたちはまだ何もおささげしてはいないのです！

**わたしたちが稼いだり、何かを入手したりする時にはいつでも、献金として神に何か
を捧げていると確信したいのではないのでしょうか。そのような時にいつでも神に規則
的にささげるために、今日その割合を決めてはいかがでしょうか。神のすべての賜物
を神に感謝しましょう。そして、什一に加えて、何かを常にわたしたちの心からささ
げようと、約束しましょう。**

5月11日 災害援助献金

(災害飢饉救援のための ADRA(アドラ)による特別な訴え)

「あの日、わたしたちはすべてを失いました。それは破壊的でした。」数時間のうち
に、プエルトリコにあるユニス・ラモスの家は、ハリケーン・マリアの暴風によって
破壊されました。

ユニスのように、災害のすべての生き残りの者や、飢饉の期間苦しんでいるすべての人は、多くの人々が想像できるような最悪の環境に直面しているのです。災害飢饉救援献金のためのあなたの献金は、行為によって示された神の愛を必要としているこれらの男女や子供たちへ、人生を造り変え、命を救う救援を提供します。

あなたの支援は、セブンスデー・アドベンチスト教会が所有する人道的国際機関である災害飢饉救援機関を通して、およそ 140 カ国に住む人々のもとに、届けられるでしょう。

この訴えを通してあなたは、命を救うようにと求められているのです。災害飢饉救援献金として ADRA のためにあなたが惜しみなくささげる献金は、災害によって根こそぎ奪われて、飢えている子供や打ちのめされた母親や家族のもとに届けられます。与えることが決定的に重要です。

世界総会は、支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の計画や機関に再配分します。ADRA、及び、アドベンチスト・コミュニティ・サービス (ACS) は、再配分されるそのリストに含まれています。ADRA 及び ACS のための追加献金は、それが明記された献金封筒を用いて、いつでもささげることができます。

5月18日 教育献金

何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

マタイによる福音書 6:33

わたしたちはしばしば、スチュワードシップを、わたしたちが神のために行う事柄だと考えます。わたしたちが神の国に奉仕できるように、わたしたちが持っているものをささげるのです。ある意味で、その通りです。しかし、スチュワードシップとは、わたしたちのために神がしてくださった事柄であるということも本当なのです。もしも神が、わたしたちにご自身がわたしたちのために持つておられるものを与えてくださらなかったならば、更に、もしも神が創造なさったものの支配をわたしたちに任せてくださいなかったならば、わたしたちは、神の代表者という特権ある身分を持つてはいないでしょう。それは、常に神から始まっているのです。

管理人であることは、神とはどなたであり、神との関係においてわたしたちとは誰であるか、ということを理解することから始まります。即ち、わたしたちは神が造られた者であり、神の良い賜物の管理者なのです。管理者であるということは、神を認めることと神を礼拝することとを含みます。ある意味で、スチュワードシップとは、礼拝です。もしもスチュワードシップが礼拝であるならば、わたしたちのスチュワードシップの行為は、わたしたちの礼拝の一部です。それはわたしたちの霊性の一部なのです。スチュワードシップは、神を信頼することを含みます。わたしたちが神を信頼するとき、わたしたちは一層自由に与えることができます。従って、会衆の与えるレベル（与える金額ではなく、収入における割合）は、事実、彼らの霊性のレベルを測る物差しであると言えます。いずれにせよ、それは、彼らの寛大さについて確かに

何かを物語っているのです。会衆の寛大さの要素は、彼らの献金が、収入の割合としての什一と比較される時に明らかになります。それは、要求されているものを、それに加えて自由にささげられたものと比較するようなものです。関心ある事柄として述べるならば、2017年度に世界中でささげられた諸献金の平均の割合は、収入のおよそ4パーセントになっています。

わたしの献金が、わたしの霊性のレベルであると考えたことがあったでしょうか。わたしたちは、什一についてはうまく実行しています。何故ならば、神がその割合をはっきりと示してくださったからです。それでは、わたしの献金は、神へのわたしの信頼についていかに物語っているのでしょうか。

5月25日 教会献金

この国から貧しい者がいなくなることはないであろう。それゆえ、わたしはあなたに命じる。この国に住む同胞のうち、生活に苦しむ貧しい者に手を大きく開きなさい。

申命記 15:11

神は、神の民に、貧しい人々に対して寛大であるようにと求めておられます。この教えの背後にあるは、彼らに土地を与えられたのは主であることを記念することでした。それゆえに、彼らが収穫したものを分け与えるべきでした。ここに、土地を所有することには、生計を立てることができることと関係があることが示されているようです。これはおそらく、一層深く考えることを求めているからでしょう。しかしながら、ここには常に貧しい人たちがいるので、わたしたちの寛大な精神がそれに伴う必要があるのです。善良なスチュワードシップが求められているのです。

主の什一とわたしたちの諸献金を、わたしたちはどのように計算したらよいでしょうか。神がご自身のものとして求められる10パーセントをわたしたちは返します。次にわたしたちは、それに加えて規則的な割合のものをとり、それを、マラキ3:10が訴えているように、献げものとして、「倉」に納めるのです。今日この「倉」は、機能的に言って、地方の教会から送られる什一と諸献金を受け取る教区（注：日本の場合は教団）です。神の伝道を支援するために「倉」に納めた後に、わたしたちは特別な伝道計画や貧しい人たちのための割合を計算するでしょう。もしわたしたちが、収入を得る度にこの実践計画に従うことができれば、どんなにすばらしいかを想像してみてください。ある人々は、必要が生じた時に、貧しい人たちにいつでも与えることができるように、「自由裁量資金」に献金します。

貧しい人たちに与えることが何故重要なのでしょうか。金銭がわたしたちの気をどんなにそらすことができるかを、わたしたちは知っています。極度に少額の金銭は、多過ぎる金銭と同じように気をそらします。貧しい人たちから貧困の重荷を軽減することは、彼らに神の恵みと神への信頼を感じさせる機会を与えることになるかもしれません。

わたしの共同体に住む貧しい人たちを、わたしはいかに助けることができるのでしょうか。

6月1日 教会献金

十分の一の献げ物をすべて倉に運び

マラキ書 3:10

わたしたちは、諸献金や什一をささげることの概念に関してかなり学んできました。しかし教会にささげられたお金が現実になどのようになるかについて、わたしたちはどれほど知っているのでしょうか。わたしたちが献金かごに入れたお金はどこに行くのでしょうか。

世界に広がるセブンスデー・アドベンチスト教会の中の異なる地域は、同じようですが異なる献金計画を持っています。学ぶべき情報が多くありますが、思想の全体像を含む一つの説明がここにあります。それは「倉」と呼ばれています。旧約聖書の中で、什一と諸献金は神殿にささげられました。今日、わたしたちはそれらを教会に持って来ます。神殿も教会も共に「倉」を表していて、そこから神の事業は、働きのために必要な贈り物を受け取るのです。

もしもわたしたち全員が、わたしたちの献金を、各自が注目をひくそれぞれの計画にささげると想像してみてください。その結果はどうなるのでしょうか。二つのことが起こります。今日喜んでなされている、わたしたちの伝道や奉仕の働きの調整がとれなくなるでしょう。メディアの注目を得られない遠隔の地にある伝道は、支援されないでしょう。しかし、もう一つの問題が存在します。エレン・ホワイトは、もしもわたしたちが、自分の献金の行き先を決めているのであれば、わたしたちがささげている時でも、わたしたちは利己的であり得ると警告しています（『祝福に満ちた生活』241ページ）。利己的な献金を想像してみてください！ それは、言葉の上で矛盾しているように響きますが、それは起こりうるのです。従って神は、ご自身の知恵によって、什一と諸献金は「倉」に納めるようにと、指示しておられるのです。今日、この「倉」は、機能的に公正な配分のために、地方の教会を通じてささげられる什一や諸献金を受け取る教区（注：日本の場合は教団）のことです。

ということは、わたしたちは自分たちで選ぶ他の事柄や計画のためにささげることができない、という意味でしょうか。決してそうではありません。わたしたちが、什一と諸献金によってこの倉を忠実に一旦支援したならば、わたしたちが望む事柄や人々のために自由にささげてよいのです。ささげることに制限はありません！

神の組織的働きの支援のためのわたしたちの献げものにおいても、それに先ずささげ、次いで他の目的のためにささげるという方法によって、わたしたちが利己的でないことを実践しましょう。

6月8日 千人宣教師献金

使徒パウロは、エルサレムにいる弟子たちの働きのために、コリントの信徒への手紙によって勇気を与えようとしていたのかもしれませんが。彼は、マケドニアの信徒に関して与えるべき、驚くべき逸話を持っていました。彼らの証は、ことのほかすばらしいものでした！ コリントの信徒への手紙二 8:1~5 でパウロは次のように述べています。

「兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、」

この証の中で、二つの事柄が目立っています。第一に、マケドニアの信徒たちの信じられないような寛大さです。彼らは、彼らの貧しさの中から、彼らの能力以上に与えたのです！ 第二に、彼らの秘訣が明らかになっています。すなわち、彼らは先ず彼ら自身を主にささげたのです！ それから、彼らは働きのために彼らの財産をささげました。

墮落した人間としてわたしたちは、利己的な性質を持っています。神と他者に利己心を持たずにささげるためには、わたしたち自身をまずイエスにささげることが必要です。わたしたちがそれをする時、わたしたちは一層イエスに似るようになり、神の良い賜物のより良い管理者となるのです。マケドニアの信徒たちはそれを実践しました。従って、わたしたちもそれができるはずです。

毎日、私たちがより一層イエスに似た者としてくださるよう求めるために、先ず神にわたしたち自身をささげる時を持ちましょう。

6月15日 教会献金

つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。

コリントの信徒への手紙 9:6

与えることと受けることに関する、以下の二つの話があります。

最初の話は、大きな容器からの水を満たした二つのコップについての話です。一つのコップの水は、あちこちにある鉢植えの植物に水を与えたり、金魚鉢の水を増やす等のために用いられています。命を与えるこれらの用途に使われているので、このコ

ップの水は無くなる度に入れ替えられています。もう一つのコップの水は、使われな
いまま、たまっています。水の上には、埃や虫が浮いていて、新鮮ではなく役にた
ちません。与えないので、コップから水が減らず、従って新鮮な水を受けることが
できません。この話の教訓は、わたしたちが多く与えれば与えるほど、受けるた
めの能力が一層増して、わたしたちは有用な者となるということです。

もう一つは、二つの土器の話です。一つの容器は、新しく光り輝いています。もう
一つの容器は、古くて割れ目があります。二つの容器は、天秤棒の両端にぶら下
げられていて、男の人の肩にかけられて運ばれています。毎日彼は、小川から水を
汲み、彼の家まで歩いて運ぶのです。彼が家に着くと、新しい容器は、料理や掃
除のために用いられる多くの水でいっぱいになっています。古い容器は、ほとん
ど空っぽです。しかし、この古い容器がぶら下がっている側の小道には、美しい
花の列が見えます。漏れている容器から毎日受けている水のために、花が生えて
きたのです。この物語は、美は与えることによって創造されること、また、分
け与えるために神はいかにわたしたちを特別に祝福してくださったかを示して
います。

**与えることは、より多く受け、より大きな善を行うための能力を造り出しているとい
うことを、いつも覚えておきましょう。**

6月22日 教会献金

心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を
愛しなさい。

マルコによる福音書 12:30

スチュワードシップの働きのためにしばしば用いられるロゴ、又は象徴は、キリス
トの二つの冠が一つに結合されている絵です。一つの冠は、いばらの冠で、もう一
つは、王冠です。

いばらの冠は、神でありながら、ご自身のために何ものも保持しようとはなさら
ず、わたしたちの救いのためにすべてのものをお与えになった、至高の管理者であ
るイエスを象徴しています。それは、この罪の世界でわたしたちが経験する苦難を
ご自身が受けて、わたしたちと一体になられたイエスの象徴です。わたしたちの
ためにイエスがなされたことに対して、わたしたちは感謝しています。イエスが
お与えになったので、わたしたちは与えるのです。わたしたちがもっとイエス
に似る者となることができるように、わたしたちは与えるのです。

王冠は、わたしの人生の主であるイエスを表しています。イエスは宇宙の王です。
しかしイエスが本当に求めておられる唯一の座は、わたしの心の座です。わたしが、
この最も重要な座をイエスに与える時、人生においてわたしが行うすべてのことは、
イエスに服従するものとなり、イエスのみ旨を考慮してなされるのです。わたしは、
イエスの掟がわたしの人生を支配するように招きます。こうしてイエスは、本当
にわたしの人生の主となり、わたしの王となられるのです。

これらの二つの象徴と共に、わたしたちは、わたしたちの救い主であり、主であるイエスのみ前に謙虚にひれ伏します。わたしたちのためにイエスがしてくださったすべてのことに対して、わたしたちは、イエスに感謝し、彼の管理者である特権を謙虚に受け入れるのです。わたしたちは、全身全霊で、イエスを愛します。

イエスの主権のもとで、わたしたちが行うすべてのことがなされるように、人生の日々を、わたしたちの救い主であり主であるイエスを考えつつ過ごしましょう。

6月29日 メディア伝道献金

イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい」

マタイによる福音書 19:21

一人の金持ちの若い指導者がイエスのもとにやって来て、永遠の命を得るために彼が行う必要のあるものは何か、と尋ねました。イエスは、この若い男が何を考えているかを知って、話を続けられました。イエスは、この青年が考えていることが、律法を守ることだけであることをご存知でした。そこでイエスは、青年に、それを実行するようにと提言なさいました。青年はこれまでの人生において掟を守ってきたので、イエスの言葉に心を動かされなかったとき、イエスは、彼に掟の本質を示されました。すなわち、それは愛です！ イエスは、彼の全財産を売り払い、貧しい人たちに与えなさい、と青年に告げました。それによって彼は、彼の心を天に投資していることになるのです。

イエスのこの教えは、「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」（マタ 6:21）とも言われた聖句を思い出させます。この物語の真理は、イエスはわたしたちのお金を必要とはしておられない、ということです！ イエスは、宇宙の創造者です。彼は、万物の所有者です。イエスがわたしたちに与えることを求められる理由は、イエスがわたしたちの心を得ることができるとためなのです。わたしたちの宝があるところに、わたしたちの心もあるからです！

毎安息日わたしたちは、教会に来て諸献金をささげます。そしてわたしたちは、神のために良いことを行ったと考えます。確かに良いことを行ったのです。神は、わたしたちの献金を教会の伝道の進展のために用いられるからです。しかし、それで、イエスが本当に求めておられるものはわたしたちの心であるということが、わたしたちにとって実現しているのでしょうか。

今後あなたが献金かごに献金を入れるときはいつでも、あなたの心も神に捧げるという挑戦を、今日受け取りましょう。

7月6日 教会献金

後にセブンスデー・アドベンチスト教会となる、再臨運動の初期の先駆者たちは、非常に熱烈な管理者たちでした。彼らは、1844年にイエスがお帰りになるという期待がはずれて、大失望を経験してきました。更に彼らは、日付は正確でしたが、出来事については間違っていたことが分かり、興奮していました。1844年は、イエスの再臨の前に起こる最後の「時の預言」である再臨前審判の開始の年であったことが、彼らに示されました。彼らは、この知識、及び、黙示録14章の三天使のメッセージを、彼らの研究が明らかにした他の真理と共に、世界に伝えることに非常に心を躍らせ、熱心でした。

問題は、全世界に広がる教会と、什一と献金をささげる管理者たちのネットワークがまだ存在していなかったということです。グループはまだ小さかったので、彼らの伝道の働きは、個人の寛大な献金に依存していました。彼らは、非常に真剣に責任を果たしたので、ある時には、儉約の一つの方法として一日に一回、食事を抜き、そのお金を伝道のために貯金し用いたのです！

今日、果たしてわたしたちは、それほどのレベルの個人的犠牲を払っていると言えるかどうか、わたしは疑問に思っています。食事を抜かすようにと勧めたいわけではありません。要点は、彼らが福音と、この時代に世界に与えられたメッセージを伝えるために100パーセント献身していた、ということです。

世界に対するイエスの良い知らせについてわたしたちが持っている尊い知識を宣布することに関連して、わたしたちは各自の心を探り、わたしたちの熱意、献身、惜しみなくささげる寛大な心が、どのレベルにあるかをはっきり知ることができますように。

7月13日 世界伝道献金（世界総会会計による奨励文）

什一に加えて信徒たちからささげられる自由献金は、教会の世界的働きの安定的な支援を提供するために必須の献金です。「私心のない献げ物」という言葉は、信徒たちが教会にささげ、全世界に広がっている必要に応じてその献金を配分することを組織機関に任せる時に、用いられる用語です。献金が、私心なく、規則的に、惜しみない精神でささげられるとき、それらは、教会の全世界に広がっている働きのために信徒各自が感じる責任感を育てます。

規則的に世界総会は、支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の用途に再配分します。世界伝道資金は、再配分されるそのリストに含まれています。この資金は、宣教師、病院、クリニック、学校、そして教会等の資金を援助します。それはまた、出版事業や放送事業を助けます。これらの事業によって、他の手段では

イエスを知ることができない人々が、母国語で読んだり聞いたりしてイエスを知ることができるようになるのです。

エレン・G・ホワイトは、「神の摂理によって、神のぶどう園は、神の管理者たちの手に託された資金によって支えられるべきである、と主はお定めになった」（『教会への証』第3巻、117ページ）と述べています。

わたしたちが忠実な管理者となり、私心なく規則的に惜しみなくささげる献金によって、主の御業を支えようと約束することができますように。

世界総会は、規則的に支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の用途に再配分します。世界伝道資金は、再配分されるそのリストに含まれています。このための追加献金は、それが明記された献金封筒を用いて、いつでもささげることができます。

7月20日 教育献金

わたしがカレッジ学生の時代、幸運にもわたしは数人のドイツ人学生たちと会いました。そればかりか、今日でも依然幾人かの善良なドイツ人の友人たちを持っています。わたしたちの友情について、わたしは多くの事柄を喜んでいます。わたしは、彼らの英語の話し方をも喜んでいます。彼らが時々英語を使う方法に、ある種の特徴が存在するのです。恐らく直訳するせいだと思いますが。たとえば、わたしが「体験を持つ」と言うと、わたしのドイツ人の友人の一人は、「体験を造る」と言うのです。彼女の信仰は、神との「体験を造る」ことの結果だと、彼女は言うのです。

わたしは、神との「体験を造る」というフレーズが本当に好きです。それは、より深い意味を伝えていています。それは、ある種の意図を示しています。スチュワードシップは、わたしたちが神との「体験を造る」ことができ、また、わたしたちの信仰を育てることができる方法の一つである、とわたしは考えています。自分たちの家族の少ない収入で、什一と諸献金を考えることは自分たちにとって難しいことだ、と多くの人々が言うのを、わたしは聞いてきました。貧困は、厳しい状況である一方で、言わば、「神を試すこと」は、信仰が増大する結果となり得るとも、わたしは願っています。什一を返し、諸献金をささげるために、信仰の手足を伸ばして進み、神の支えと祝福の約束の実現を求めことは、信仰の共同体——互いの必要のために気を配る場でもある——の中で、わたしたちが実践するようにと招かれていることです。このような約束の一つが、マラキ書 3:10 に記されています。「十分の一の献げ物をすべて倉に運び、わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと、万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために、天の窓を開き、祝福を限りなく注ぐであろう」。もう一つの約束が、詩編 37:25 にあります。「若いときにも老いた今も、わたしは見えていない。主に従う人が捨てられ、子孫がパンを乞うのを」。スチュワードシップを忠実に実践することは、わたしたちの信仰を体験する最も実際的な方法の一つであるということは確かな事実です。

忠実なスチュワードシップの実践と、神の約束を主張することによって、神との体験を造りましょう。

7月27日 教会献金

あなたたちは先祖の時代から／わたしの掟を離れ、それを守らなかった。立ち帰れ、わたしに。そうすれば、わたしもあなたたちに立ち帰ると、万軍の主は言われる。しかし、あなたたちは言う、どのように立ち帰ればいいのか、と。人は神を偽りうるか。あなたたちはわたしを偽っているながら、どのようにあなたを偽っていますか、と言う。それは、十分の一の献げ物と、献納物においてである。あなたたちは、甚だしく呪われる。あなたたちは民全体で、わたしを偽っている。十分の一の献げ物をすべて倉に運び、わたしの家に食物があるようにせよ。これによって、わたしを試してみよと、万軍の主は言われる。必ず、わたしはあなたたちのために／天の窓を開き、祝福を限りなく注ぐであろう。

マラキ書 3:7～10

わたしたちはしばしばマラキ書 3:9、10 だけを読みます。なぜならば、それが、忠実なスチュワードシップに伴う約束を含んでいるからです。しかし、もしもわたしたちが時間を取ってその聖句の前後を読むと、通常疑問を持つ聖句に関するわたしたちの理解を深めてくれます。例えば、もしわたしたちがマラキ書 3:7 までさかのぼり、そこから始めれば、イスラエルの破壊は神の憐れみによって防がれていたことが分かります。しかし、神は彼らの罪について彼らに語り、神に立ち返るようにと彼らに求めました。彼らは、それをどのように行うべきかを知りたいと願いました。

神は、彼らが十分の一の献げ物と、献納物において神から盗んでいたことを彼らに指摘しました。更に神は、十分の一の献げ物をすべて倉に運ぶようにと 9 節で彼らに訴え、そうするならば祝福が注がれると、彼らに告げられました。要するに、忠実な管理者であることがイスラエルの歩むべき道でした。そして今日のわたしたちにも、「神に立ち帰れ」と言われているのです。スチュワードシップとは、礼拝です。それは、神を創造者、供給者、万物の与え主として認めることであり、わたしたちの経済を含めて、万事において神を第一に置くことなのです。それはまた、わたしたちの心は神のものであることをも示しているのです。

忠実なスチュワードシップを通して、今日わたしたちも神のもとに立ち返ろうではありませんか。

8月3日 サインズ献金

あなたの祭壇に、鳥は住みかを作り、つばめは巣をかけて、雛を置いています。万軍の主、わたしの王、わたしの神よ。

詩編 84:4

神は、神の被造物のすべてを——小さな雀から巨大な動物まで、そして、樹木、山々、海、宝石、そしてわたしたち人間——を愛しておられます。神は、これらのすべてを本当に愛しておられるのです。被造物は、神の御名をたたえます。神はわたしたちに、神の被造物の世話と、互いに世話をする特権を与えられました。自然界の世話をするのは、単なる仕事以上のことです。それは、神とはどなたであり、神のみ前におけるわたしたちとは誰であるかを理解することです。わたしたちのこの仕事を立派に行うことは、神に対するわたしたちの忠誠心を示すことになるのです。神は、命の創造者です。もしもわたしたちが永遠の命を欲しければ、神こそその命の唯一の源泉です。忠誠心は、わたしたちと、そして、神にとっての死活問題なのです。

ヨハネの黙示録 11:18 は、次のように述べています。「異邦人たちは怒り狂い、あなたも怒りを現された。死者の裁かれる時が来ました。あなたの僕、預言者、聖なる者、御名を畏れる者には、小さな者にも大きな者にも報いをお与えになり、地を滅ぼす者どもを滅ぼされる時が来ました」。今日、もしもわたしたちが自然の環境を眺めるならば、わたしたちが神の被造物を、それを破壊するに至るまで利己的な理由のために用いてきたことは明らかです。ある人たちは、そんなことはかまわない。何故ならば、地球はいずれ破壊され、そして新しく造られるからだ、と感じるかもしれません。しかし、そうではありません。なぜならば、神はご自身の創造と、創造したものを愛しておられるからです。更に、神が創造なさったものを大切にすることは、わたしたちが神の側にいることを示しているからです。

わたしたちが自然界、及び、お互いを大切にしていることを示すために、わたしたちの影響力の及ぶ範囲において、また、わたしたちの隣人との間において、各自は何をすることができるでしょうか。

8月10日 支部機関献金

何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

マタイによる福音書 6:33

今日の世界は、天の国の成功に関する価値観や定義と同じではない考え方で作用しています。イエスは、地上におられた間、神の国が何に似ているかをわたしたちに教

示しようと、多くの時間を過ごされました。山上の祝福（マタ 5:1～12）として知られるようになった教えの中で、イエスは、逆境のもとで喜ぶこと、また、謙虚な者は報われること等をわたしたちにお語りになりました。それは、わたしたちにとって、神の国においては物事は逆さまであるように思えます。それはなぜでしょうか。

それは、逆さまであるのはむしろこの世界である、とわたしは述べたいのです。最初物事は正しかったのですが、罪が入り込み、神の完全な世界をひっくり返しました。焦点が、他者や神から、自我——自我を高めること、自我を富ませること、自我を満足させること——へと変わりました。このために、イエスの自己犠牲の性質や神の国の教えが、わたしたちには逆さまに見えるのです。実際にはイエスは、それらを再び正しい方向に向き変えさせようとしておられるだけなのです！ わたしたちが永遠の文脈において物事を見ると、神の国を理解し、また、わたしたちがこの世の価値観で生活するとき、わたしたちが神の国からどんなに離れているかを理解し易くなるのです。

マタイによる福音書 25:32～46 にある羊と山羊のたとえは、神の国に入る人々にイエスが求めておられる、「別の焦点」を要約しています。毎日の生活において、わたしたちはどのようにしてそれを目指せばよいのでしょうか。わたしたちが目指しているものは、自分たちのために富を蓄え、地上の成功を得ることでしょうか。それとも、わたしたちは神の国の根本となる自己犠牲の原則に従っているのでしょうか。

イエス及び、神の国と神の義とをわたしたちの最優先事項としましょう。そして、永遠に続く神の愛から来る祝福を喜びましょう。

8月17日 教育献金

良い贈り物、完全な賜物はみな、上から、光の源である御父から来るのです。御父には、移り変わりも、天体の動きにつれて生ずる陰もありません。

ヤコブの手紙 1:17

この物質的な時代において、わたしたちが生き残るのは、わたしたちが一生懸命に働くからであり、その結果、人並みに幸せな人生を送るために必要なすべての物を蓄え、環境を整えることができてきたからであると、わたしたちは考えがちです。わたしたちは、善良な市民であり、他の人たちを助けようとしませんが、わたしたちの主要な責任は、わたしたち自身の生き残りのために努めることです。そしてそれは良いことですよね。もしわたしたちが自立しておれば、他の人たちの重荷とはなりません。そうでしょうか？ しかし現実的真理は、わたしたちを取り囲むこれらすべての環境や、わたしたちが頼っている物や人間は、瞬間的に消滅し得るということです。わたしたちが頼ることができる唯一の事柄は、神がわたしたちを創造されたこと、わたしたちを愛しておられること、わたしたちを支えてくださるという神の約束がある、ということです。

最近南アフリカの南部地方で、厳しい干ばつがあり、ケープタウンの住民は厳しい水制限のもとで生活しました。メディアでは、「ゼロの日」についての話がありました。

この日には、ダムは実際に空になり、家庭への水道水は止められました。従って各自が備えようとしていました。水槽が設置され、できる人たちは水を溜めました。しかし水が無くなったとき、彼らは、富める者も貧しい者も皆同じ状況の中にあることを知ったのでした！ 危機は、条件を平等にする性質を持っているのです。あなたが誰であるか、あなたがどれほどの価値ある者か、或は、何をしている人であるかを問いません。すべての人は、危機において、一瞬のうちに同じレベルの上に置かれるのです。突然、わたしたちは皆、神の被造物となり、完全に神に依存するのです。幸運にも、ケープタウンにおける第四回目の冬には、雨が降り続けました。神は、神の支援の祝福を送ってくださいました。

忠実なステewardシップの実践を通して、神だけに頼るわたしたちの信仰を強めましょう！

8月24日 教会献金

あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。主は、とこしえにいます神／地の果てに及ぶすべてのものの造り主。倦むことなく、疲れることなく／その英知は究めがたい。疲れた者に力を与え／勢いを失っている者に大きな力を与えられる。

イザヤ書 40:28、29

良いステewardシップに影響を与える、人生の広い領域を探ってみましょう。わたしは、神が与えてくださる賜物のすべてにおいて、忠実な管理者になることが必要です。すなわち、わたしの健康、わたしの家族、わたしの礼拝、わたしの証、わたしたちの特別なメッセージと使命、わたしの才能、わたしの時間、わたしの環境、わたしの金銭においてです！ しかし、なぜステewardシップは、ほとんど金銭にのみしばしば集中するのでしょうか。

エレン・ホワイトは、金銭は、心を表す最も大きなテストである、と述べています（『祝福に満ちた生活』、353 ページ）。彼女は何を根拠にこのように述べているのでしょうか。マタイによる福音書 6:21 の「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」というイエスの言葉を根拠にしています。

わたしには、神が創造者であり、万物の所有者であるという以外の理由があるのでしょうか。このことを考えただけで、わたしは神と神の慈愛にまったく依りすがること以外のすべての理由がなくなるのです。この事実を認めるとき、わたしの人生はいかに異なるのでしょうか。地上の現実ばかりではなく、永遠の現実に従ってわたしは生きていくと考える時、物事がどんなに異なることでしょうか。永遠の現実が、現在のこの地上の現実を可能にしているのです。わたしが、永遠の神の管理者であることを考えるとき、ただちにそれはわたしの優先事項をまっすぐにしてくれます。仮にわたしたちの最大の優先事項が、神に対するわたしたちの関係であり、神の御前におけるわたしたちの立ち位置である、ということ想像してみてください。わたしたちの最優先事項が、神がわたしたちに世話をするようにと求められたことへのわたしたちの態度

である、と仮に考えてみてください。わたしたちの日ごとの選択や生活の態度がどのように変化するでしょうか。

忠実な管理者であることによって、わたしたちすべての者が、永遠のために備えているとは、何という特権でしょう！

8月31日 メディア伝道献金

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

マタイによる福音書 5:16

もしも神が万物の創造者であり、所有者であるならば、わたしたちが神の支えの力に依存している存在であることをわたしたちは理解できます。わたしたちは、瞬時にすべての物を失うことができるし、また神に完全に頼ることができます。このことは、わたしたちの物事の見方や、わたしたちの優先事項を正しくするのを助けてくれます。わたしたちは、神の国を築くための神の良い賜物の管理者として、この地に存在しているのです。わたしたちは、神の良い賜物の通路なのです。良い管理者として、わたしたちは、自分自身と他の人たちを、永遠のために備えているのです。わたしが良い管理者であるとき、わたしの優先事項はどのように変化するでしょうか。基本的に、万事において神を第一に置くように、わたしを助けてくれます。わたしのクリスチャン生活の側面において、わたしが実行できる以下のような事柄があります。

1. 毎日何よりも最初に、祈りによって主との交わりを持つ時間を聖別します。聖書、証の書、安息日学校ガイドを学び、家庭礼拝の時間を持ちます。
2. わたしの人間関係を改善します。誠実さ、許し、不変の愛の成長を求めます。
3. わたしが全身全霊で、より良く主に仕えることができるように、新しく健康的な習慣を確立します。
4. 全員参加伝道計画に従って、毎週一日、午前（あるいは、午後）の時間を、聖書研究、小グループ等を通じて他の人たちに福音を伝える神の働きにささげます。
5. 安息日を遵守します。そのために安息日の備えとして金曜日にさまざまな準備をします。
6. 主の什一（わたしの収入の十分の一）を忠実にお返しします。
7. わたし自身で選択した一定の割合で、わたしの収入から定期的に、自由献金を主にささげます。

今日あなたが、主と約束したいならば、以下のわたしのささげる祈りに加わってください。

「主よ、今日わたしは、わたし自身をあなたにお委ねいたします。わたしの人生のすべてのことにおいて、あなたを第一とすることを約束します。忠実な者となるように、わたしを助けてください。アーメン。」

9月7日 教会献金

与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。押し入れ、揺すり入れ、あふれるほどに量りをよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである。

ルカによる福音書 6:38

セブンスデー・アドベンチスト教会で実践しているスチュワードシップは、独特なものです。わたしたちは、神殿の働きを支えるために神がイスラエルに教えられた方法に従っています。ただ今日それは教会の働きと福音の宣布のためです！ 什一は牧師たちを支え、わたしたちの諸献金は、伝道と地方教会の費用を支えます。

什一はまた、各地方行政のレベル（教会）によって、次のレベル（教区、教団、支部総会）へと返され、最後には世界総会に届けられます。世界総会の指導者たちは、行政のために彼らが必要とするものを用い、残りの部分は伝道地に還元します。

什一のシステムの利点は、より公平で安定した分配を含んでいるということです。すなわち、地方の牧師たちの給料は同じです。他の伝道地と同じほどの経済力のない伝道地も、配分金を受けることができます。自由献金は、必要な地方教会の費用、施設の増設、及び、支援が必要な伝道計画のために用いられます。

資金の循環配分は隅々にまで行き渡り、神の正式な働きを支得るための最も効率の良い方法です。忠実な什一と諸献金によって教会を支えることは、教会員一人一人の責任です。他の計画や共同社会の必要のための献金は、この方法によって教会が支えられた後に、実行できるかもしれません。

福音の宣布及び、人々を永遠のために備えさせるという目的を持つ、全世界に広がるネットワークの一部であることは、何という特権でしょう！

9月14日 世界伝道献金（世界総会会計による奨励文）

時々、資金がただちに手元にあって教会が迅速に対応さえできれば、伝道の好機をもたらすような状況が生じます。もしもわたしたちが、資金を集めるために何か月も何年も待たなければならぬとすれば、これらの好機は失われるかもしれません。

「緊急災害時資金」は、これらの独特な機会のために用いられます。

過去数年間この献金は、平均 700,000 ドル以上でした。この一部は、ノルウェーのテレビ局、及び、西アフリカのエボラでの教育のために用いられてきました。

わたしたちは、定期的に自由献金をささげることによって、これら緊急時のために対

応することができます。

規則的に世界総会は、支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の用途に再配分します。世界伝道資金（緊急災害時資金）は、再配分されるそのリストに含まれています。このための追加献金は、世界伝道資金（緊急災害時資金）と明記された献金封筒を用いて、いつでもささげることができます。

9月21日 教育献金

イエスは賽銭箱の向かいに座って、群衆がそれに金を入れる様子を見ておられた。大勢の金持ちがたくさん入れていた。ところが、一人の貧しいやもめが来て、レプトン銅貨二枚、すなわちクアドランスを入れた。イエスは、弟子たちを呼び寄せて言われた。「はっきり言うておく。この貧しいやもめは、賽銭箱に入れている人の中で、だれよりもたくさん入れた。皆は有り余る中から入れたが、この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである」

マルコによる福音書 12:41～44

ある人たちは、スチュワードシップに関して困惑してきました。これは、すべての人に求められているのでしょうか。何の収入もない人々は、どうして参加できるのでしょうか。貧しい人に、教会への献金を訴えるべきでしょうか。これらは、正直で重要な質問です。

セブンスデー・アドベンチスト教会内で実行されている、規則的に惜しみなくささげるこの献金システムは、均等に配分する働きだと考えられる、というのが事実です。これは、各自が祝福されてきたことに応じて経済的管理者となるように導き、富める人にも貧しい人にも、その働きを平等にするのです。

聖書によれば、献金をささげることは、その人の収入の割合に応じるものです。現代わたしたちは、割合のことを、「パーセンテージ」として表現します。什一は、主によって10パーセントと定められました。諸献金は、各自の心に従い、また神が物質的に各自をいかに祝福されたかに従って、個人によって選ばれた規則的なパーセントでささげられます。従って、諸献金も、什一と同じくパーセンテージに基づくのです。重要な点は、物質的な祝福を受ける時にはいつでも、収入の何パーセントをささげると約束するその人によって決定されるということです。有効的にすれば、貧しい人でも、富める人とまったく同じパーセントを約束できるのです。それどころか、聖書にあるやもめのように、より多くささげる人さえいるのです。献金は、物質的事柄である以前に、まず心の問題なのです。何の稼ぎもない人さえ、収入を受ける割合に応じてささげると、神に約束することによって忠実な管理者となり得るのです。神は、より多くも、より少なくも期待なさいません。しかも神は、忠実な人を祝福すると約束してくださいました。

神は、ご自身の知恵によって、わたしたちが心から従うようにと、わたしたちのために制定なさった、公平な献金制度を理解しましょう。

9月28日 教会献金

また、天の国は次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。高価な真珠の一つを見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。

マタイによる福音書 13:45、46

セブンスデー・アドベンチストは、彼らの遺言書に、地上における神の御事業を心に留めるようにと奨励されています。ある人たちは、あたかも運命を試しているかのように感じていて、遺言書を作るという考えを好みません。他の人たちは、単に怠っているだけです。しかし、遺言書が無いということが、遺族が故人の事柄の処理に当たって多くの不便さの原因となり得ます。遺言書があると、多くの人々を安心させます。

それとは別に、『スチュワードシップに関する勧告』から教えられることは、宇宙には二つの銀行預金しか存在しないということです。すなわち、神の銀行預金か、それとも、悪魔の銀行預金かのいずれかです。人が死んで後残す品物や金銭がどれほどのものであっても、二つのうちのいずれかの残高となるのです。人の地上における祝福が、これら二つのうちのいずれの銀行預金の残高となるかを、遺言書はその人に前もって決めさせるのです。あなたが最早いなくなっても、むしろ神の御事業に益となるように、決定なさいませんか。遺言書は、わたしたちがまだ生きている間に、神の御事業に使う財産を殖やすために、わたしたちの時間をより良く用いるという動機さえ、与えることができます。

神の栄光のために、どのようにすればあなたの身边を正しく整理できるかを、前もって決めてはいかがですか。

10月5日 教会献金

律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。薄荷、いのんど、茴香の十分の一は献げるが、律法の中で最も重要な正義、慈悲、誠実はないがしろにしているからだ。これこそ行うべきことである。もとより、十分の一の献げ物もないがしろにしてはならないが。

マタイによる福音書 23:23

スチュワードシップは、什一と諸献金とだけに関係するものだと、わたしたちは考えがちです。しかし、スチュワードシップは、それ以上のことなのです。それは、神の御前におけるわたしたちのアイデンティティなのです。わたしたちは、神の管理者です。そしてこの事実は、クリスチャン生涯のすべての側面に影響を及ぼしているのです。

- * 自然界において、他者を祝福するために、神がわたしたちに与えられた賜物を、個人的にまた社会的に用いることにおいて。
- * わたしたちの周りにいる人々、及び、より大きな社会のためのわたしたちの心遣いにおいて。
- * わたしたちの健康と人間関係に責任を持つことにおいて。
- * 神の国の線に沿って、わたしたちの優先事項を設けることにおいて。

聖句の中で、律法学者やファリサイ派の人々は什一に関しては入念であるが、正義、憐れみ、信仰等を大切にする、より幅広い召命をおろそかにしていることに、イエスが言及しているのをわたしたちは聞きます。

わたしたちの生活のどの領域が、神の律法に沿っていないのでしょうか。他の人々に対してわたしたちは、どのようにしてイエスを誤って提示しているのでしょうか。もしもわたしたちが総合的な意味においても良い管理者でなければ、わたしたちは、イエスの良い弟子ではあり得ないのです。

わたしたちの生活全般、及び、わたしたちが行うすべてのことに影響する事柄として、わたしたちのスチュワードシップに関して、考える時間を取りましょう。

10月12日 信徒子女奨学金献金

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書 3:16

イエスを与えることによって、神はご自身の最善の贈り物をわたしたちにください

ました。この行為から、わたしたちは次の事柄を学びます。すなわち、与えることが、神の性質の中心である。神は万事に先立ち与えられた。神は、イエス・キリストにおいて、最善のものを与えられた。神は与えることによって、わたしたちを永遠の死から救われる。わたしたちが貨幣や家畜や収穫物をささげるとき、神は、それが大きくても、あるいは、小さくても、わたしたちの最善のものを求められます。レビ記 22:18～20 で神は、神の民に次のように教えておられます。「アロンとその子らおよびイスラエルのすべての人々に告げてこう言いなさい。イスラエルの家の人であれ、イスラエルに寄留する者であれ、満願の献げ物あるいは随意の献げ物を献げ物として、焼き尽くしてささげるときは、主に受け入れられるように傷のない牛、羊、山羊の雄を取る。あなたたちは傷のあるものをささげてはならない。それは主に受け入れられないからである」。わたしたちの献げ物に対する神の評価基準は、わたしたちが持っている最善のものなのです。

エレン・ホワイトは、次のように記しています。「主は、わたしたちの献金を必要とはなさいません。わたしたちは、献げ物によって、主を富ませることはできません。……しかし、他者への憐れみの手を差し伸べるための自己犠牲の努力によって、神の憐れみに対するわたしたちの感謝を示すことを、神はわたしたちにお許しになります。これが、神に対するわたしたちの感謝と愛とを表すためにわたしたちができる唯一の方法なのです。神は、他の方法を何も備えられませんでした」(レビュー・アンド・ヘラルド、1887年12月9日号)。彼女はまた、『祝福に満ちた生活』の189ページで、次のように述べています。「どんな小さなタラントも、どんなささやかな奉仕も、清められたささげものとしてイエスにささげることができ、そしてイエスは、御自分の功(いさお)しの香りとともに、それを父に差し出される。もし、われわれの持っているいちばん良い物を、神への愛と真心を持ってイエスに仕えたいとの熱望から差し出すなら、そのささげ物は、全面的に受け入れられるものである」。

わたしは、神に対してわたしの最善のものをささげているでしょうか。

10月19日 教育献金

金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。

ルカによる福音書 18:25

一人のオーストラリアのアドベンチストが、『助けて！祝福だらけです！呪いとなる前に神の祝福を止める方法』(*)という表題の本を著しました。本当に面白い表題です。神によって「祝福されること」が、なぜ助けが必要な問題となるのでしょうか。

彼の証を進めて行くうちに、彼は、動機がどんなに良くても、物質的祝福が、神に向けられないで、神やクリスチャンとしての優先事項から引き離すのではないかと思えるようになったのです。

そのようにならないために、彼は神により近く生きることができるよう、また、神の愛についての証に集中できるように、彼の仕事と生活を順次再調整してきました。

今日の聖句は、神を中心としないで、物質的富を中心置く人々にとって、物質的

富は実際に、つまずきの石となり得ると述べているのです。しかし、わたしたちが自分自身を、神の御事業と他者に対する神の祝福の通路だと見ることができるとき、物質的富は良いものとなることができます。

どのようにしてわたしは、物質的富（たとえ多くても、少なくても）を、わたしの神との旅路における、わたしにとっての躓きの石となるようにしているのでしょうか。

*Julian Archer, Author: Help! I've Been Blessed! How to stop God's blessings from becoming curses. Australia: Carpenter's Son Publishing, 2014.

10月26日 教会献金

イエスはエリコに入り、町を通っておられた。そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見ることができなかった。それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとしておられたからである。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。

ルカによる福音書 19:1～10

ザアカイの物語から、わたしたちが学ぶことができる多くの教訓があります。彼がなぜあのように対応したのか、その理由を考えたことがあるのでしょうか。なぜ彼は、彼の財産の半分を貧しい人々に施し、また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返そうと、決めたのでしょうか。確かに人は、借金を正確に、あるいは、いくらかの利子を付けて、返金することを求められています。ザアカイは、それ以上のことをしているように感じられます。実は彼は、損害賠償をしているのです。彼がしたことは、人々に不利益を与えたのだと彼は認め、それを正したい、と願ったのでした。わたしたちの共同体において、人々が不利益な立場に置かれてきたような時があるのでしょうか。このような立場にいる人々のために、ザアカイのように対応するに十分な特権を受けている人が、わたしたちの中に何人かでもいるのでしょうか。

わたしの共同体の中で、特権や不利益によって生じた壊れた人間関係を回復する助けをするために、わたしは何をすることができるのでしょうか。

11月2日 教会献金

つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。神は、あなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分で、あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせることがおできになります。

コリントの信徒への手紙二 9:6~8

わたしはこれまでに、献金の構成の仕方において、わたしに大きな模範を示してきた何人かの人々に遭遇してきました。これらの人々は、先ず、主の什一を返し、地方教会への諸献金として収入の一定の部分をささげ、そればかりか、特別な計画や共同体の必要のために、更なる献金をする忠実な管理者たちです。しかし、それがすべてではありません。ある人たちは、特別な緊急事態が生じて、聖霊の感動を受け、心の琴線に触れた時にただちに対応できるように、収入の一定の割合を規則的に貯めておく、一つの銀行預金、あるいは資金をも保有しているのです。

このように金銭を取り分けておくという偉大なことは、あなたと金銭との間に情緒的な距離を作り出します。その人は、金銭をその人自身の所有物だとは、もはや考えてはいないのです。金銭は、神と神の訴えに、すでにささげられているのです。機会が生じたとき、何らの迷いもありません。金銭は、その働きのためにすでに存在しており、利用可能なのです。この計画は、献金をささげることを非常に容易にしてくれるのです！

それを試してみようと、わたしは考えました。数か月間、一定の金額を取り分けました。その時、わたしは、緊急の治療が必要ですが、その治療費を出せない人について聞きました。ただちにわたしは考えました。「待てよ、わたしには、与えるものがあるぞ！」その時に、与えることができたということは、何という祝福ではないでしょうか。他者にとって祝福であるということは、何と喜ばしいことでしょうか。たとえ必要なもののわずか一部分であったとしても、必要な全額の一部に加えられる助けとなったのです。わたしは、この経験をするようにと強くお勧めすることができます。神は、素晴らしいお方です。神は、わたしたちを祝福なさるばかりではなく、わたしたちが一層イエスに似る者となり、他者を祝福する喜びを経験するように、わたしたちを導かれるのです。わたしたちが与え続けることができるように、神は、引き続きわたしたちを祝福するとさえ、約束しておられるのです！

緊急な助けを必要としている人々を支えることができるように、事前の計画を実行しようではありませんか。

11月9日 年末犠牲献金——グローバル・ミッション

(世界総会、アドベンチスト・ミッション部による奨励文)

今日の献金は、年末犠牲献金です。「犠牲」という言葉を聞くと、動物の燔祭を考えるかもしれませんが、しかし、年末犠牲献金はそうではありません。一つの犠牲は、一つの献げ物となり得ます。しかし、それはもっと上のものを与えることをも意味しています。この献金が、「犠牲献金」と呼ばれるようになったのは、そのためなのです。

この献金は、アドベンチスト教会の海外伝道計画が、それを継続して行く十分な資金が無くなったために、まさに中止されようとした時に、開始されたのです。

おかげでこの伝道計画は、中止されませんでした。膨大な伝道の挑戦は、依然として存在しているのです。世界の全人口のわずか三分の一が、クリスチャンです。それは、地球の人口の三分の二の人々が、イエスを知らないという意味です。

イエスは、この世界を救うために、ご自身の命をお与えになりました。あなたはイエスをまだ知らない何百万という人々のために、一回の食事や、一回のスナックや飲み物を、喜んでやめることができますか。

できる限り惜しみなく、年末犠牲献金のためにおささげし、未開拓地域の人々にイエスにある希望を届けるために、グローバル・ミッションの働き人たちを送る助けをいたしましょう。

定期的に世界総会は、支部総会を通じて献金の一部を受け取り、その資金を伝道地の用途に再配分します。年末犠牲献金——グローバル・ミッション——は、再配分されるそのリストに含まれています。このための追加献金は、年末犠牲献金——グローバル・ミッション——と明記された献金封筒を用いて、いつでもささげることができます。

11月16日 教育献金

知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6:19、20

だから、あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにしても、すべて神の栄光を現すためにしなさい。

コリントの信徒への手紙一 10:31

神の最大の賜物の一つは、わたしたちの健康という賜物です。健康に恵まれていない人々は、健全な身体がいかに大きな賜物であるかをすぐに認めます。わたしたちは皆、健康のレベルが異なっています。しかしわたしたちがどのような状態であっても、すべての人は、神の栄光をたたえることができるのです。しかしながら、自分ででき

る最高のレベルで健康を維持するすべての価値を把握し、それによって神の栄光をたたえていないと思える人々が存在しているのです。全人的に良い健康である要素にはどのようなものがあるのでしょうか。

英語で「セレブレーションズ (CELEBRATIONS)」と呼ばれる、各要素の頭文字を合わせた言葉は、健康な人が持つ広範囲で重要な以下の12項目を覚える助けとなるように、提言されてきました。

(1) C は、正しい選択 (CHOICES) をすることを表す。(2) E は、規則的な運動 (EXERCISE)。(3) L は、水 (LIQUIDS) の使用；飲むための水と、清潔にするための水。(4) E は、環境 (ENBIRONMENT) を整える；自然界、家庭環境、人間関係を育てること。(5) B は、信頼 (GELIEF)；神に信頼すること。(6) R は、十分な休息 (REST)。(7) A は、新鮮な空気 (AIR)。(8) T は、節制 (TEMPERANCE)。(9) I は、誠実であること (INTEGRITY)。(10) O は、楽天主義 (OPTIMISM)；精神的健全さを指す。(11) N は、健全な栄養 (NUTRITION) 。そして最後に (12) S は、必要に応じて与えられる社会的支援 (SOCIAL SUPPORT AND SERVICES)。

神の栄光をたたえるために、わたしの健康的生活のどの分野を改善することが必要でしょうか。

11月23日 教会献金

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

フィリピの信徒への手紙 2:3~8

神の管理者として、わたしたちは、地上における神の伝道のみならず、神の御品性を提示することが必要です。神とはどのようなお方でしょうか。フィリピの信徒への手紙の2章は、イエスが他者の利益に目を留めておられることを、わたしたちに告げています。イエスは、わたしたちのためにへりくだり、死に至るまで従順でした。

神は、関係を持つことができる存在として人間を創造なさいました。それは、わたしたちがイエスに一層似る者となる方法を学ぶことができるためです。わたしたちの人間関係はどのような状態でしょうか。従順さを実践しているのでしょうか、それとも、自分本位でありたいのでしょうか。もしもわたしたちが、フィリピの信徒への手紙の2章に記されているイエスの御品性の描写と自分自身を比較するとすれば、わたしたちはいかに公平でしょうか。他の人たちがわたしたちを見るとき、その人たちは、わたしたちの中に、イエスを見るのでしょうか。

エレン・ホワイトは、「天の意志への完全な服従の中に見られる平安と喜びが、天使

の軍勢の中にこれまでずっと存在してきた。神への愛は、至高であり、相互への愛は、公平であった。これが、罪の侵入以前の時代に絶え間なく続いていた状態であった」(英文、『預言の霊』第4巻、316、317頁)と述べています。神のご意志への服従が、永遠の昔から宇宙を清く保ってきた特徴であるようです。同じ特徴が、これからの永遠においても必要でしょう。

今、この地において、お互いにへりくだり、従順であることによって、神の御意志への服従を実践しましょう。

11月30日 メディア伝道献金

生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

ガラテヤの信徒への手紙 2:20

スチュワードシップは、什一や諸献金などによって識別できる行為として、しばしば理解されています。これらの行為は、より深い信仰に関連して見出されることを認めることが重要です。以下に、そのいくつかの実例があります。

表面においてわたしたちは、什一や諸献金を見ます。しかし、より深いレベルにおいてわたしたちは、その人の経済生活の中で作用している、キリストの主権を見るのです。表面ではわたしたちは、財布から取り出される金銭を見ますが、より深いレベルでわたしたちは、神にささげられた心を見るのです。表面ではわたしたちは、教会におけるスチュワードシップ計画を見ますが、より深いレベルでわたしたちは、それを支えているクリスチャンのライフスタイルが存在していることを知っています。

わたしたちが、キリストと共に十字架につけられた時、キリストがわたしに代わって生きてくださいます。そうすれば、自己に仕える性質であったものが、他者に仕えるものとなります。自我に耽るものであったものが、単純な生活となり、自己賞揚であったものが、犠牲的な生活へと変わります。自己本位が存在していた場所に、今は、従順が存在します。更に、自己中心性が存在していたところに、今は、神と隣人に仕える自己が存在するのです。

わたしたちの価値観は、世俗的なものから霊的なものへと移動します。わたしたちは、有限なものを愛していましたが、今は無限なものを愛しています。わたしたちは、もはや自己中心で生きるのではなく、キリスト中心で生きています。わたしたちは、短期思考型ではなく、長期思考型となり、また、自己支配から、聖霊支配へと移行します。これらすべてのものの中心に、イエスがおられるのです。正しい行為と正しい信仰は、イエスとの正しい関係が存在する時にのみ、遭遇するのです。

わたしたちの信仰がより深くなり、良い実を結ぶことができるように、イエスとわたしたちとの関係を大切にしましょう。

12月7日 教会献金

エレン・ホワイトは、与える人たちについて語っています。実際に、彼らと与えることに対して賞賛されている人々です。しかし、彼らが単に衝動的に与えても、彼ら自身が与えることによって、自分は寛大であると感じるように欺かれる危険がある人々なのです。彼らは、恐らく訴えに従って発作的に与えるのです。彼らは、その時、与えると嬉しくなるから与えているのです。牧師は、彼らを賞賛することさえするかもしれませんが。しかし彼らは、実際は自分たちがけちな人間で、自分自身の欲望に仕えていることなど、まったく考えてもいません（『祝福に満ちた生活』241 ページ）。

わたしたちはどうすれば、自分自身が与えることによって欺かれるようになることを、避けることができるでしょうか。

わたしたちは、物質的祝福——収入、あるいは、増収——があった時にはいつでも、組織的にささげるべきです。什一は、主が定められた割合に従って計算されます。自由献金もまた、受けた祝福、または、収入に基づいて、割合/パーセントに従って個々に決めます。これは、公平無私で規則的な慈善と呼ばれます。このような方法でささげることは、わたしたちが与えることにおいてさえ、管理者ではなく、自我に仕える人間になることからわたしたちを防いでくれます。与えることについてのこれらの原則は、わたしたちが自分自身ではなく、神を礼拝するようにしてくれます。他の献金は、聖霊によって、あるいは、訴えによって心が動かされるとき、個人的に選択した計画や必要な人々へささげられるかもしれません。

わたしたちのステewardシップが聖なる行為となるために、聖書の中の神の教えと一致し、また、神の導きに従って、気前の良い寛大さが行使されることが必要です。

主の助けにより、わたしたちが与えることにおいて、また、主に喜んで献金することにおいて、従順で規則正しい人でありましょう。

12月14日 アイアス/教育伝道特別献金

若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう。

箴言 22:6

現代世界において、両親たちは、できるだけ多くの成功への道や、おもちゃ、電気製品のような最新で最善の品物や、旅行の機会を子供たちに与える必要を感じる場合がしばしばあります。このような行為は、必ずしも問題ではありません。しかし子供たちは、受けることと同じように、与えることについて、より一層多く学ぶ必要があります。彼らもまた、万物の創造者であり、所有者であり、すべての良き賜物の源泉

である神について、理解することが必要です。彼らもまた、神の財産の管理者であると共に、他の人たちに神の良い賜物を与える無私の通路となる方法を学ぶことが必要です。彼らは、自分たちの豊かさを惜しみなく与える心に移し、他の事柄と共に、良いスチュワードシップの行為を通して、神の国のための品性を育てることが必要です。

家庭で用いるために、子供たちに容易に作ってあげることができる実際的な品物は、献金袋です。献金袋には、四つのポケットがあって、たとえば、寝室の入り口のドアの裏側に下げることができます。一番上のポケットに「わたしは自分自身を神にささげます」と書いて、その上に子供の写真を貼ります。子供たちは、主の御用のために成長させ用いたいと願っている自分の才能について書き、それをポケットの中に入れます。次のポケットには「什一、10%」と書くことができます。子供たちは、自分たちのお小遣いや、仕事のお駄賃、頂きもの等の10%をその中に入れることができます。第三の袋には「献金、___%」と、子供たちが自分自身で決めた割合を記します。収入や頂き物があると、ただちにそのポケットの中に入れます。最後のポケットには、「特別計画用」と書き、特別な計画や困っている人々のために与えようと、別に決めた割合のお金を入れます。それぞれのポケットには、励みになる聖句を入れることができます。安息日の朝には、ポケットの中にあるお金を封筒に入れ、項目に従って明記し、安息日学校の時、または、礼拝の時に、子供たちがそれを献金かごに入れます。

献金かごが回って来た時に、ただ無計画に入れるのではなく、子供たちが規則的にささげることが学べるように助けましょう。

12月21日 教育献金

らくだの大群、ミディアンとエファの若いらくだが、あなたのもとに押し寄せる。シェバの人々は皆、黄金と乳香を携えて来る。

イザヤ書 60:6

イエスの誕生物語は、一年のこの時期に、わたしたちが集中する物語です。多くの誕生劇が上演され、喜ばれています。これは、人の心を奪う物語です。神の御子が人間の姿でお生まれになります。この物語でイエスを取り囲んでいる重要な登場人物の中に、博士たちがいます。聖書は、何人の博士がいたかは、述べていませんが、わたしたちは彼らの三つの贈り物は知っています。黄金、乳香、没薬です。

考古学者たちは、これらは、王、また神にさえふさわしい贈りものであったことを、発見しました。紀元前 243 年、これらの贈り物が、カリニカスの王セリユーシス二世によって、ミレトスの神殿にあるアポロ神にささげられた献げ物の中に含まれていたという碑文が発見されました。今日の聖句で、イザヤは、外国の王たちが、「主の栄誉が宣べ伝えられる」ために、これらの贈り物を携えて来ることに関して述べています。

これらの外国人たちが、イエスが王であることを知っていたことを指摘することは、興味深いことです。イエスが世の罪のために死ぬことさえ知っていたかもしれません。というのは、没薬は、伝統的に死体防腐処置剤として用いられていたからです。いずれにせよ、今日最も重要な問題は、わたしたちがイエスを王として認めているかどうか

か、ということです。単なる王としてではなく、神であり、わたしたちのためにすべてを与えられた王なのです。ローマの信徒への手紙8:32は、次のように述べています。「わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか」。

イエスがわたしたちのためにしてくださったすべてのことに対する感謝の心をもって、わたしたちは今日、イエスに何をささげようとしているのでしょうか。イエスへのわたしたちの献げ物がたとえ何であるにしても、イエスにとっては、わたしたちの心が最も価値ある贈り物であることを、わたしたちは覚えておきましょう。

12月28日 教会献金

信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。

使徒言行録 2:44～47

長い間信徒である人たちも、今から教会に加わろうとしている人たちも、しばしばわたしたちは、スチュワードシップに関して明快に語ってはいません。教会に献金することに関して話すことを、心地よく感じないのかもしれませんが。しかし、スチュワードシップは、初代教会には非常に自然な部分でした。

アドベンチストにおける什一の実践に関する研究によれば、什一を忠実にささげる人たちは、より多く教会に留まり続けているということが判明してきたことを、あなたはご存知でしたか。なぜそうなのでしょう。

人が何かに投資したとき、その人が投資した事柄に留まり、それを育て大きくしたいと思います。恐らく、地方教会との関係を持ち続けることによって、人々は霊的に養われ、ささげることにもより多くかかわることでしょう。いずれにせよ、スチュワードシップは、信徒のリテンション率に影響を与える事柄です。スチュワードシップに関して教えることは、それゆえに、非常に重要です。ある牧師は、什一をささげていないと分かった人々を訪問して、彼らに、主との正しい関係を作り、もう一度忠実な管理者となる機会を彼らに与えると、証しています。彼らは、狼狽せずに、通常不安から解放され、励まされて、再び什一を開始するのです。彼らの主との関係が改善されるばかりではなく、彼らの教会活動への参加も増大することを、牧師は知りました。これらの出来事は、スチュワードシップが、キリストへ委ねられた人生にとって、重要な部分であることを示しています。

臆することなく、スチュワードシップと、献金することに関して語りましょう。